

校長室だより

No. 25

平成29年10月27日(金)

強く やさしく

六ツ美中部小学校校長

かとうよしかず  
加藤嘉一

## 明日は学芸会本番



学芸会でしか見られない名ぜりふや、ストーリーの核となる名曲があります。「〇〇ちゃんのあのせりふ（歌）は心にしみいったなあ。おじちゃん、涙が出てきたよ」そんな言葉が生まれたら子供もわたしたちも幸せです。どの子供にとっても自慢の一作品となることを願います。今年は、ステージの左上にスクリーンを新しく設置しました。使用するのは学芸会が初めてです。毎年進化する学芸会をお楽しみに。そして、どうか台風がきませんように。

もみじ読書週間を利用して 11月1日(水)～15日

—今年度は家庭での読書習慣をめざします（読書カード）—

### 【本年度の重点努力目標 一部抜粋】

☆推薦図書紹介・図書イベント活動の工夫（委員会等）

左にもありますように、今年も子供たちにとって「読書」が

親しみのあるものとなるようにしたいと考え、学校経営方針の本年度の重点努力目標に入れてあります。毎年学校診断アンケートにおいても保護者の皆さんの結果を見ると、「進んで本を読む」の項目が、他の項目に比べ芳しくない傾向にありました。

### 【平成28年度 学校診断アンケートより】

#### <児童質問> 進んで本を読んでいますか。

よく当てはまる 35.9% やや当てはまる 28.8%

あまり当てはまらない 27.2% 全く当てはまらない 8.0%

#### <保護者質問> お子さんは、進んで本を読んでいる。

よく当てはまる 19.9% ほぼ当てはまる 29.1%

あまり当てはまらない 36.8% 全く当てはまらない 14.2%

#### <自由記述欄より> ・本をあまり読まないのので、本を読むように勧めてほしいです。

—他を含め全4件—

全国学力・学習状況調査でも、読書と正答率を関連づけた調査をしているので、その調査結果（クロス集計）を裏面に掲載します。

調査で最も顕著な結果が読み取れるのが、「読書は好きですか」の質問に対し、

「当てはまる」と答えた子たちと「当てはまらない」と答えた子たちとの正答率の差が、国語Aで10.5ポイント、国語Bでは16.8ポイントも差が出ていることです。この差は大きいと思います。誰もが読書好きになるとよいのですが。

読書は好きですか	児童数	児童数の割合 (%)	平均正答率 (%)			
			国語A	国語B	算数A	算数B
1 当てはまる	495,810	49.1	78.5	62.9	81.5	50.3
2 どちらかといえば、当てはまる	254,959	25.3	73.8	55.8	77.9	44.4
3 どちらかといえば、当てはまらない	153,321	15.2	71.2	52.0	76.1	41.9
4 当てはまらない	103,062	10.2	67.0	46.1	72.3	37.5

学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）	児童数	児童数の割合 (%)	平均正答率 (%)			
			国語A	国語B	算数A	算数B
1 2時間以上	69,935	6.9	77.5	62.1	79.5	48.7
2 1時間以上、2時間より少ない	100,437	10.0	78.2	62.5	80.9	49.5
3 30分以上、1時間より少ない	199,233	19.7	77.8	61.5	81.3	49.4
4 10分以上、30分より少ない	270,829	26.8	76.4	59.2	80.5	47.8
5 10分より少ない	161,756	16.0	72.6	54.3	77.0	43.6
6 全くしない	205,190	20.3	70.0	50.8	74.3	40.6

昼休みや放課後、学校が休みの日に、本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか	児童数	児童数の割合 (%)	平均正答率 (%)			
			国語A	国語B	算数A	算数B
1 だいたい週に4回以上行く	30,503	3.0	76.4	60.7	79.8	49.8
2 週に1～3回程度行く	127,337	12.6	78.7	63.1	82.6	51.1
3 月に1～3回程度行く	232,770	23.1	78.4	62.3	82.3	50.5
4 年に数回程度行く	238,209	23.6	75.6	58.0	79.4	46.3
5 ほとんど、または、全く行かない	326,411	32.3	70.6	51.8	74.3	40.9

そして、「普段1日あたりどのくらいの時間、読書を読みますか」の質問では、「1時間以上、2時間より少ない」と答えた子たちと「全くしない」と答えた子たちとでは、国語Bで11.7ポイントの正答率の差でした。「全くしない」と答えた子たちが全体の20.3%いることも、わたしは意外に多いと感じ、驚きでした。読書においても二極化が起こっているかもしれません。図書室等へは、週に4回以上よりも1～3回程度行く子の正答率が一番よい結果でした。

この3つの質問項目から、読書が好きであること、そして、本に触れることに抵抗のない状況にある子たちが、国語・算数の力により影響を及ぼしているのではないかと、わたしは読み取りました。

そこで、本年度は国語部の青木先生、近藤佳奈先生、小田先生にお願いをし、読書カードの工夫をしてもらいました。特に、わたしは家庭での読書習慣に視点をあてたいと考えました。11月にはもみじ読書週間がありますので、そこを活用します。これまで本から少し遠ざかっていた子ども、この2週間は家での読書の時間を確保してください。時間数は少しでもよいです。読書の嫌いな子ども、学校で一緒にがんばる仲間がいることを意識させ、読む習慣をつけたいと思います。御家庭の皆さんもぜひ御協力ください。

